

-----11月4日-----

※ 今週のアウトルック (11/4~11/8)

先週は米QE縮小の先送りを背景とする金融相場継続への期待が若干後退したことなどから、ドルの買い戻しが進む結果となりました。

30日のFOMC終了後に公表した声明で、金融環境を懸念する文が削除されたことなどが、QEの早期縮小観測につながっているようです。

今週は8日発表の米国雇用統計を見据えた展開となりそうですが、それまではどちらへも動きづらい展開、その後は大きく動く可能性もあるので、市場のセンチメントの変化に注意を向ける必要があります。

ドルはQE縮小の先送り観測の後退感から、ドルの買い戻しが進むこととなりました。

今週は米国雇用統計の結果を予測しながらの展開となりそうですが、それほど改善されていない、という結果の市場評価がくださった場合、QE縮小の先送り観測の再燃から、ドル売り再開という結果にも、なりかねないようにも思います。

ドル円の予想レンジは97円から99.5円です。

ユーロドルはドルの買い戻しが進んだことから、急落しています。また、このところの上昇一服感から、利益確定が進んだ結果のようにも思います。

今後については、米国雇用統計発表後の、QEの早期縮小観測の市場見通し次第ということとなりそうですが、上昇トレンドの再開という展開は、十分に考えられるようにも思います。

ユーロ円の予想レンジは132円から133.5円です。

ポンド円はどちらへも動きづらい状況が続いています。今週も米国雇用統計発表までは、動きづらい状況となりそうですが、発表後の大きな動きも想定しておく必要があります。

ポンド円の予想レンジは157円から159.5円です。

今週は、米国雇用統計の結果を予測した動きとなりそうですが、再びQE早期縮小観測が後退した場合の動きには、注意が必要です。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。